

セローで行く北海道ツーリング旅日記

旅行期間: 2024年7月11日(木)~7月25日(木) 15日間 2,600Km

	月日(曜)	発着地	走行距離 天 気	スケジュール【宿泊地】
1	7/11 (木)	日 進 名古屋 FT	26 km 曇り	太平洋フェリー 19:00 発 きそ 【船中】
2	7/12 (金)	仙 台 FT		16:40 着 19:40 発 【船中】
3	7/13 (土)	苫 小牧 FT 留 萌	195Km 晴れ	11:00 着 ウトナイ湖 【ワークマンハウス留萌】
4	7/14 (日)	留 萌 稚 内	283Km 晴れ	日本海オロロンライン 黄金岬海浜公園、旧花田家番屋、幌延ビジターセンター 名山台展望台、サロベツ湿原センター、宮の台展望台 宗谷岬、宗谷丘陵白い道 【旅館山一】
5	7/15 (月)	稚 内 礼 文 島 利 尻 島	109Km 晴れ	稚内 6:30 — 香深 8:25 礼文島: 北のカナリヤパーク、スコトン岬、澄海岬 香深 12:50 — 13:30 脊形 【北国グランドホテル】
6	7/16 (火)	利 尻 島 稚 内	98Km 晴れ	姫沼、オタドマリ沼、仙法志御崎公園 鴛泊 12:50 — 稚内 14:20 【旅館山一】
7	7/17 (水)	稚 内 旭 川	268Km 晴れ	日本海オロロンライン オトンルイ風車群 【オスパーコート宮前】
8	7/18 (木)	旭 川 川 湯 温 泉	309Km 晴れ	黒岳ロープウェイ・リフト、層雲峠、三国峠、石北峠、屈斜路湖 【EZO HOUSE】
9	7/19 (金)	川 湯 温 泉	231Km 晴れ 時々曇り	知床横断道路 知床遊覧船、知床峠、羅臼、 【EZO HOUSE】
10	7/20 (土)	川 湯 温 泉	161Km 雨のち晴れ 時々曇り	津別峠、裏摩周展望台、神の子池 【EZO HOUSE】

11	7/21 (日)	川湯温泉 厚岸町	386Km 霧のち晴れ 曇り	開阳台展望台、トドワラ、春国岱、納沙布岬 霧多布湿原センター、霧多布岬 【シーサイドインホテルあっけし】
12	7/22 (月)	厚岸町 えりも町	333Km 晴れ	北太平洋シーサイドライン・黄金道路 襟裳岬、アポイ岳ジオパークビジターセンター 【かめや旅館】
13	7/23 (火)	えりも町 苫小牧 FT	178Km 曇り一時雨	マルトマ食堂 太平洋フェリー 19:00 発 いしかり 【船中】
14	7/24 (水)	仙台 FT	晴	10:00 着 12:50 発 【船中】
15	7/25 (木)	名古屋 FT 日 進	25Km 晴れ	10:30 着

今年の北海道ツーリングは 15 年ぶりの礼文・利尻、10 年ぶりのトドワラ・納沙布岬・襟裳岬、昨年は悪天候で視界が悪かった知床や峠を回ります。相棒はダートにも強いヤマハセローで、クマの出没情報に注意しながら神の子池にもチャレンジします。

7月 11 日(木)・12 日(金)・13 日(土)

しばらく天候不順で自宅から名古屋フェリーターミナルまでの約 1 時間はカッパ覚悟でしたが、幸い降られずに到着出来ました。

穏やかな航行で、13 日は青森県沖で日の出を見る事が出来ました。苫小牧に到着後、海鮮料理を楽しみに噂のマルトマ食堂に直行しましたが残念ながら長蛇の列で断念。(最終日 23 日に再度立ち寄りました)

国道 12 号線の日本 1 長い直線道路は、現役時代、バスガイドさんの案内を聞いて待ち構えながらも見逃した標柱をカメラに収めることができました。



まだ誰もいない名古屋フェリーターミナル
雨よけのカバーをかけて待機



雨は降っていますが穏やかな海



長蛇の列のマルトマ食堂



直線道路標柱 美唄のスタート地点

7月14日(日)

留萌から日本海オロロンラインを北上。サロベツ原野を半日かけて縦横に移動し湿原や360度の展望を楽しみました。

宗谷岬はさすが人気のスポットで、最北端のモニュメント前は写真撮影の列が絶えません。白い道もSNSで拡がり、沢山のバイクが訪れていました。



幌延ビジターセンター



サロベツ湿原



宗谷岬



宗谷丘陵の白い道

7月15日(月)

稚内港から早朝のフェリーで礼文島に渡り、はじめに南端の北のカナリヤパークを訪ね、映画セットと利尻山の遠望を楽しみました。スコトン岬は日本最北端のトイレも売店も綺麗になっていて、多くの団体客が訪れていました。前回見落とし、ブラタモリで知った澄海岬からの景色は息をのむ程の美しさで、しばらく見入っていました。昼過ぎのフェリーで利尻島へ。天気が良く、5合目付近の見返台展望台まで登り利尻山をゆっくりと眺めました。見る場所で形の変わる利尻山を、バイクを停めて眺めながら早めにホテルにチェックイン。温泉につかってから、のんびり周辺を散策しました。



北のカナリヤパークと利尻山



映画セットの小学校



スコトン岬



澄海岬からの絶景



見返台展望台からの利尻山



バイクを停めて撮影

7月16日(火)

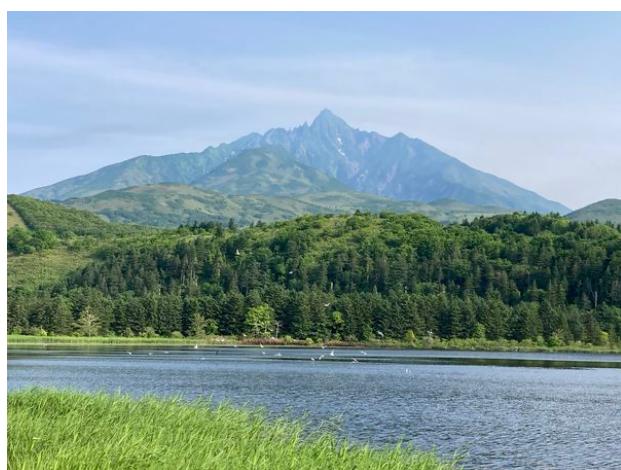
早朝5:30発の姫沼ガイドツアーの後についてホテルを出発。残念ながら水面に映る逆さ利尻富士は見られませんでしたが、ゆっくりと沼を一周しました。オタドマリ沼からの利尻山はとても美しく、「白い恋人」のパッケージに使われています。仙法志御崎海岸にはウニがいっぱいいますが、値が高くて口には入りません。どこの店も「ウニ丼」は10000円が相場です。時計回りに島を一周し昼過ぎのフェリーで稚内港に。道の駅の中の新しくなった「稚内駅」に立ち寄り、早めに宿に入り近くのコインランドリーで6日分の洗濯をしました。



早朝の姫沼



利尻昆布を干す若者たち



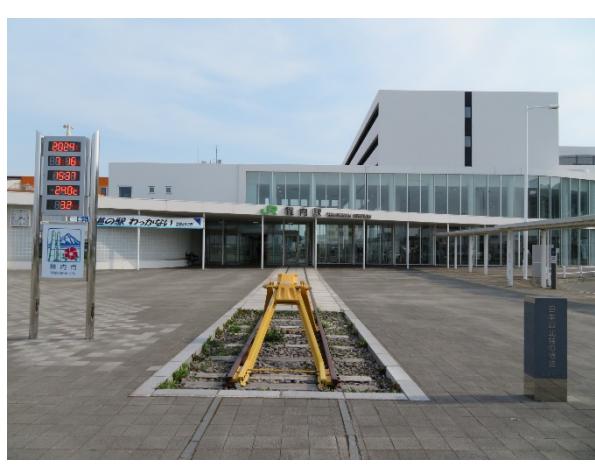
オタドマリ沼からの利尻山



仙法志御崎海底で育つウニ



鴛泊のシンボル ベシ岬



新しくなった稚内駅

7月17日(水)

海からの強い風が吹く日本海オロロンラインを稚内から留萌まで約170Kmを快走。サロベツ原野近くのオトンルイ風車群は壮観で、大きさに圧倒されました。往路の14日は営業時間前だった道の駅おびら鯉番屋でしばらく休憩し、旭川の宿に早めにチェックイン。併設のスーパー銭湯で気持ちの良い汗を流しました。

7月18日(木)

朝早く層雲峡の黒岳ロープウェイ・リフトで標高1500mまで上がりましたが、霞がかかり絶景とはいきませんでした。久しぶりに訪れた層雲峡は道が変わり、国道39号線は長いトンネルとなり渓谷が見られず、銀河・流星の滝のところだけが駐車場になっていました。昨年は帶広側から向かい雨で断念した北海道で一番標高の高い三国峠まで往復し、人気の松見大橋をカメラに収め道東へ。昨年は真っ白だった美幌峠は晴れしていましたが、屈斜路湖は霞がかかってうっすらとしか見えませんでした。



黒岳ロープウェイ 5合目駅からの大雪連山



銀河の滝



流星の滝



三国峠から望む松見大橋



うっすらと見える屈斜路湖

7月19日(金)

昨年は天気が悪くて出来なかった知床クルーズと、知床横断道路全走破を目指して早朝出発。ウトロに着くと8時30分発の大型観光船オーロラ号の「カムイワッカの滝コース」が予定通り運航とのこと。穏やかなクルーズを楽しみ、カムイワッカの滝が海に流れ落ちる姿をカメラに収めることができました。

知床横断道路は標高が上がるにつれ気温が下がり風も強くなり、美しい姿の羅臼岳は見えましたが、バイクが止められず写真は撮れませんでした。知床峠に近づくと視界が悪くなり峠は雲の中で、羅臼側はさらに天気が悪く、道の駅知床・らうすの気温は17度でした。帰路には斜里岳が美しい姿を見せてくれました。



大型遊覧船オーロラ号



海に流れ落ちるカムイワッカの滝



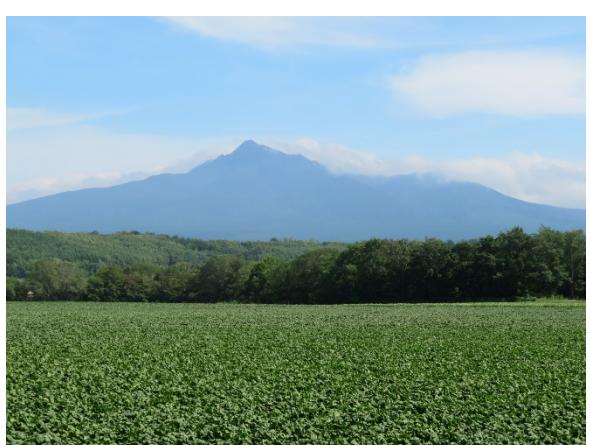
うっすらと見える知床連山



ウトロ港のゴジラ岩



霧が立ち込める知床峠



美しい姿の斜里岳

7月20日(土)

朝方から雨足が強く半ば諦めていましたが、9時頃になると雨は上がり急いで支度をして津別峠へ。駐車場に着くとエゾシカが2頭、カメラを向けるとポーズをとるかのように立ち止まってくれ、展望台からは雲海が広がる期待以上の景色が見られました。

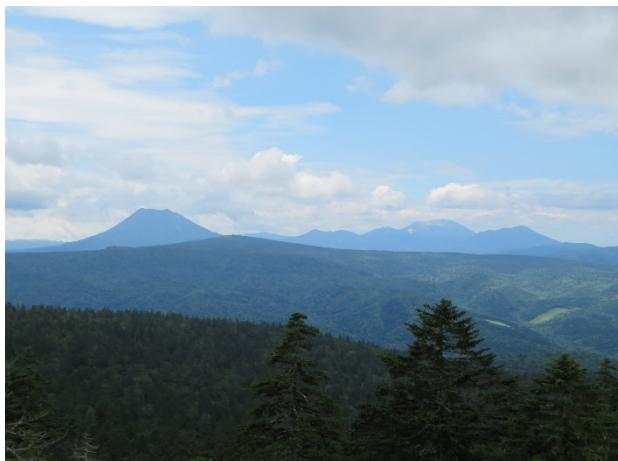
昨年は真っ白だった裏摩周展望台からは展望が開けていましたが、景色は表側の方が良いようです。神の子池は未舗装の道を走りましたが路面はフラットで不安はなく、心配していた熊に出会うこともありませんでした。木々に囲まれ青く澄んだ池は神秘的な雰囲気でした。



津別峠でエゾシカが出迎えてくれました。



津別峠から望む雲海
晴れると眼下に屈斜路湖が見えます



雄阿寒岳と雌阿寒岳



裏摩周展望台からの景色



神の子池

7月21日(日)

3泊した川湯温泉のライダーハウスを出て1時間程は霧の中でしたが、多和平を過ぎると青空が広がり、ライダーに人気の開阳台展望台からは360度のパノラマが楽しめました。

トドワラの白骨樹林は残り僅かとなり、馬車もトラクターバスになって、10年前とは様変わりしていました。風蓮湖は青い空でしたが根室半島に入ると次第に曇り空となり、納沙布岬は厚い雲に覆われていました。霧多布に近くなるとさらに視界が悪くなり岬は霧の中。その後宿泊地の厚岸まで淡々と走り、宿に着くとトリップメーターは386Kmで、今回一番の長距離移動となりました。



開阳台展望台



トドワラのトラクターバス



トドワラ



風蓮湖



納沙布岬



霧多布岬

7月22日(月)

最終目的地の襟裳岬を目指して厚岸の宿を早朝5時30分に出発。途中、釧路市湿原展望台に立ち寄りましたが、開館前で展望台に上がれず、遊歩道も朝はクマの出没があり危険とのことで断念。

青空が広がる北太平洋シーサイドラインを快適に走り、大部分がトンネルに変わった黄金道路の一部旧道を楽しみ昼過ぎに襟裳岬に到着。前回は悪天候で何も見えませんでしたが、強風ながら好天に恵まれ、襟裳岬を堪能することができ、海の香りいっぱいのえりもラーメンを美味しく頂きました。



道の駅あっけしから望む厚岸湖



北太平洋シーサイドラインを快走



黄金道路スタート地点



海に流れ落ちるフアンベの滝



襟裳岬展望台



名物えりもラーメン

7月23日(火)・24日(水)・25日(木)

北海道の走り收めは苫小牧フェリーターミナルまでの約 170Km。19 時の出航ですが確実に乗船出来るよう、えりも町の宿を 8 時過ぎに出てゆっくり走り 12 時頃には苫小牧に到着。苫小牧に到着した 13 日は留萌まで行くため時間がなく断念した「マルトマ食堂」は、相変わらず多くの人が並んでいましたが、乗船までたっぷり時間があるので列に加わり目的の海鮮丼を味わうことができました。安くて旨い！は評判通りでした。

昨年は台風で太平洋フェリーが欠航した為、津軽海峡フェリーで青森に渡り陸路となりましたが、貨物船の接岸待ちで出発が遅れたものの、苫小牧から名古屋に向け無事出港。復路も海は穏やかで、24 日の日の出を眺め、25 日予定通り帰宅することができました。

記:奥村正忠



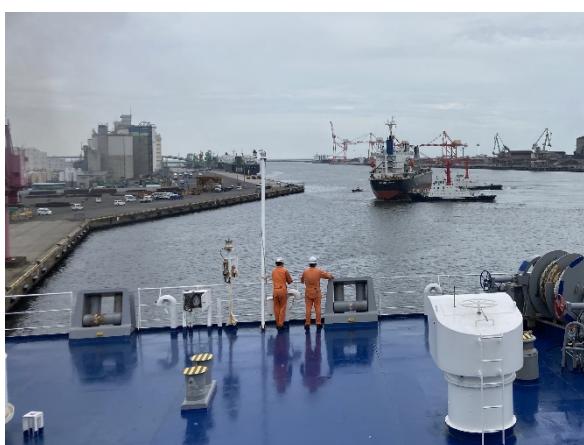
マルトマ食堂の山盛りの海鮮丼



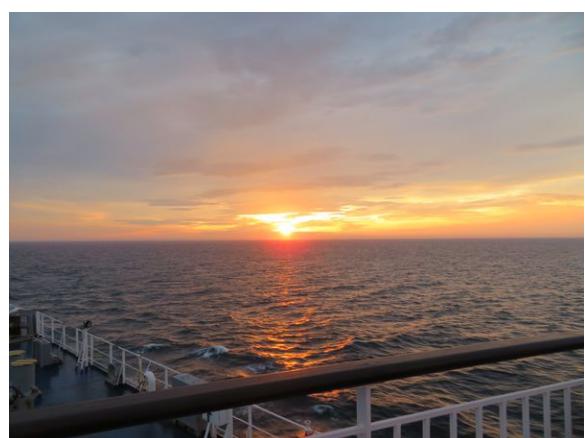
国内最大級のフェリーいしかり



タグボートに押されて方向を変え、定位置に近づく貨物船



左側に回り込んで推すタグボート



24日 宮城県沖の日の出